

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備			担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	警察情報通信基盤は、警察活動における情報伝達・通信を担っており、平時はもとより災害発生時においても、警察活動を継続して行うことができるよう維持管理しているところであるが、東日本大震災により一部の警察情報通信基盤が被災したため、これらの復旧整備を行い、復旧・復興過程における警察活動に支障を来すことのないようにする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により被災した警察情報通信基盤の復旧整備を行い、より災害に強い基盤を構築するとともに、混乱に乗じた犯罪の発生が懸念される復旧・復興過程における警察活動に支障を来さないよう、警察情報通信基盤を整備し、治安対策に万全を期す。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額 (単位：百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	1,023	3	33	22	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	0	1,023	3	33	22		
	執行額	-	889	0.5	-	-		
執行率(%)	-	87%	17%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 -年度
	警察情報通信基盤による警察活動の維持	復旧整備する警察情報通信基盤施設の数	成果実績	復旧整備数	-	7	1	-
			目標値	復旧整備数	-	7	1	-
			達成度	%	-	100%	100%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	同上	活動実績	復旧整備数	-	7	1	-	
		当初見込み	復旧整備数	-	7	1	3	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	事業費総額÷ 復旧整備する警察情報通信基盤施設の数	単位当たりコスト	千円	-	126,955	520	11,027	
		計算式	事業費/施設数	-	888,684千円/7	520千円/1	33,081千円/3	
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	物品購入費	11	0					
	雑役務費	22	22					
	計	33	22					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	警察情報通信基盤は、警察活動における情報伝達を担っており、警察活動を継続して行うことは、国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することとなっており、国が実施すべき事業として適切なものである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	警察の責務である公共の安全と秩序の維持のために被災した警察通信施設を復旧させることは、必要かつ適切な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	法令に基づく手続きに従って契約しており、支出先の選定は妥当なものである。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	警察情報通信基盤は、全国一律な整備を行う必要があることから、国が負担すべき事業として適切なものである。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	仕様の見直し等により最小限のコストで実施しており、単位当たりコストの水準は妥当なものである。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	執行額全額について、警察情報通信基盤の復旧整備のために支出されていることから、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	仕様の見直し等により最小限のコストで実施している。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	仕様の見直し等により最小限のコストで実施している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	警察活動に必要な警察情報通信基盤を復旧整備しており、警察活動をより迅速・的確に行うことが可能となるなど、成果目標に見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	仕様の見直し等により最小限のコストで実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みどおりの種類を復旧整備している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	警察活動に十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	契約にあたっては、効率性、経済性を確保している。			
	改善の方向性	東日本大震災の教訓を踏まえ、災害等発生時においても、避難誘導、救出活動などの警察活動を円滑に行う上で、本事業は必要不可欠である。契約の都度、施工方法の見直しや競争性を高めるための検討を行っており、今後も継続して効率的な予算執行に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	平成26年度の執行率が17%と低いため、実績を踏まえ事業規模の見直しを行うことが適当である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	平成26年度の執行実績を踏まえ事業規模の見直しを行い、減額のうえ平成28年度予算要求を行った(前年度比11百万円減)				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
0.5百万円

〔 警察庁へ移替え 〕



警察庁
0.5百万円

〔 災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備に必要な予算を管区に配賦 〕



【 予算配賦 】

A.東北管区警察局
0.5百万円



【 予算配賦 】

B.宮城県情報通信部
0.5百万円



〔 災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備に必要な経費を支出 〕

< 物品購入費 >
【 随意契約(少額) 】

C.民間会社
(1者)
0.5百万円

〔 災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備に必要な物品を購入 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東北管区警察局			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
予算配賦	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備に要する経費	0.5			
計		0.5	計		0
B.宮城県情報通信部			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
予算配賦	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備に要する経費	0.5			
計		0.5	計		0
C.扶桑電通株式会社			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入費	モジュラーローゼットほか購入等	0.5			
計		0.5	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北管区警察局	予算配賦	0.5	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県情報通信部	予算配賦	0.5	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	扶桑電通株式会社	モジュラーローゼットほか購入等	0.5	随意契約	-